

科目名	日本文化史（古代・中世）					単位	2.0
担当教員	沼波 政保						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	5205

●授業のテーマ

古代・中世の日本文化の特質を探る—日本人の思想—

●到達目標

日本文学に表われたいくつかの思想について考察し、そこから、古代・中世の日本人の精神について、またそこから生れた日本文化の特質についての知識を得る。

●学習内容(授業概要)

言うまでもなく、文学は人間の精神的営為の表出である。したがって、文学を享受するという事は、そこに表われている人間心理を享受することである。当然、そこには時代背景が多分に影響している。

したがって、日本文学を研究することは、とりもなおさず、日本人の文化史を学び、精神史を学ぶことになる。また、そこに日本文化の特質が存するのである。

よって、日本文学の著名な作品を通して、今年度は、「滅びの美」を中心に考察し、日本文化の特質および日本人の精神を探っていききたい。

●学習内容(授業計画)

- 第1講 序説 「文学」とは何か
- 第2講 「滅びの美」とは
- 第3講 上代の「滅びの美」…『古事記』・『日本書紀』他
- 第4講 中古の「滅びの美」…『伊勢物語』・『源氏物語』・『大鏡』他
- 第5講 中世の「滅びの美」①…『保元物語』・『平治物語』
- 第6講 中世の「滅びの美」②…『平家物語』①
- 第7講 中世の「滅びの美」③…『平家物語』②
- 第8講 中世の「滅びの美」④…西行『山家集』
- 第9講 中世の「滅びの美」⑤…鴨長明『方丈記』
- 第10講 中世の「滅びの美」⑥…吉田兼好『徒然草』
- 第11講 中世の「滅びの美」⑦…『新古今集』
- 第12講 中世の「滅びの美」⑧…謡曲
- 第13講 中世の「滅びの美」⑨…『太平記』・『義経記』
- 第14講 近世の「滅びの美」…俳諧 他
- 第15講 結講

●準備学習・事後学習の内容

前回の授業内容を理解した上で授業に臨む。

毎回の授業後には、授業の内容をノートに整理し、理解しておく。

●成績評価方法・基準

授業中に随時行なう臨時テスト(2~3回)の成績(70%)に受講態度(30%)を加味して評価する。

●テキスト(必携)

適宜、プリントを配布する。

●参考文献/その他

適宜、紹介するが、その他に、日本文学作品はできるだけ読むことをこころがけてほしい。

●履修上の注意

主体的態度で受講することを望む。遅刻・欠席を慎み、必ずノートを取る。ノートを取らないとテストに対応できない。